

障害福祉事業所における災害時の BCP計画策定と運用に関する研修会

大津市障害福祉課・大津市障害者自立支援協議会

令和7年1月24日
NPO法人 高齢者住まいる研究会
寺西貞昭

災害計画への合理的なアプローチ

災害時のBCP策定の必要性と策定する際のポイント
研修や訓練の実施の在り方

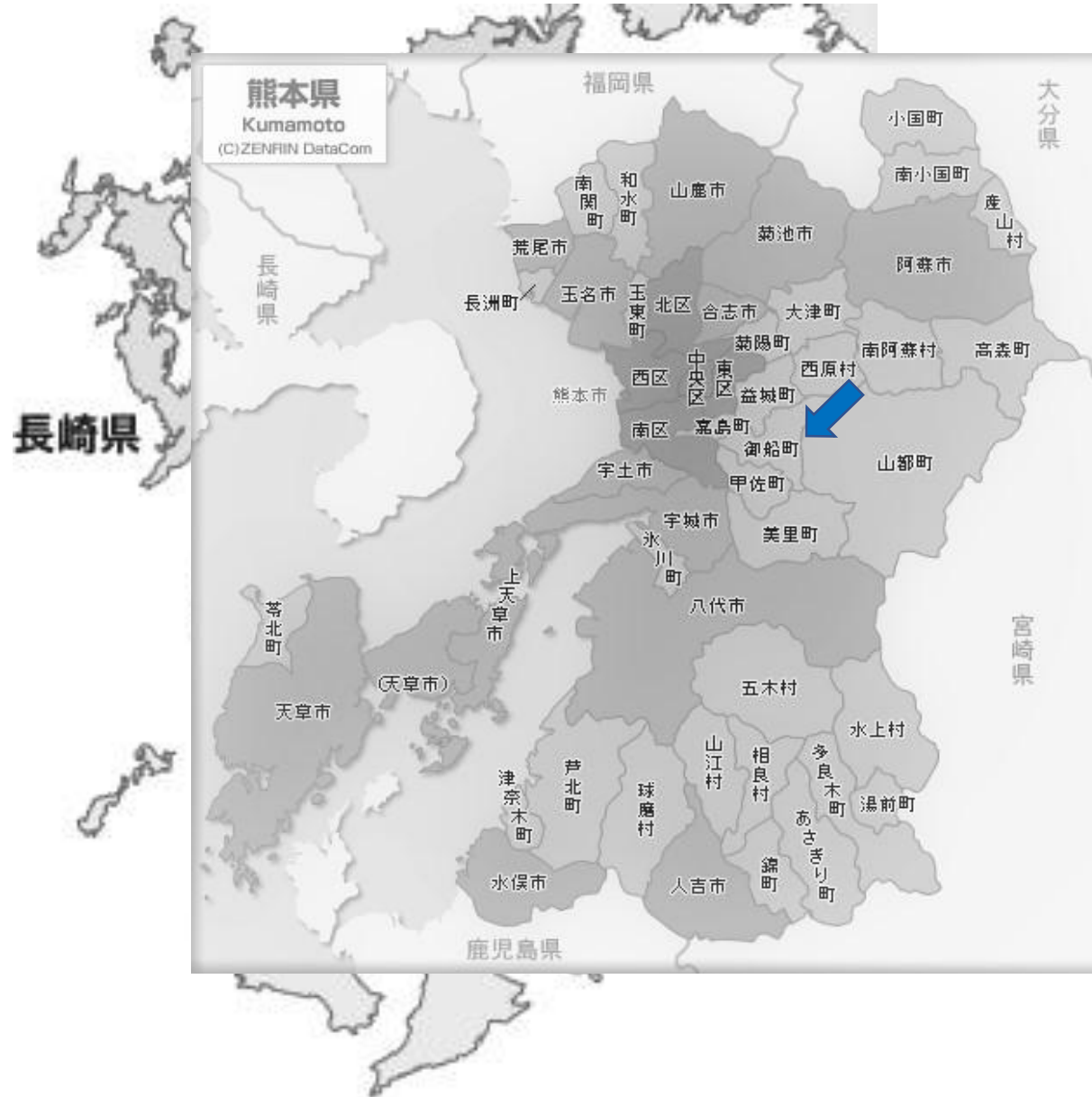
令和5年6月26日
NPO法人 高齢者住まいる研究会
寺西貞昭

出身 愛知県一宮市

令和元年4月に熊本に移住

介護福祉士・介護支援専門員・防災士

御船町



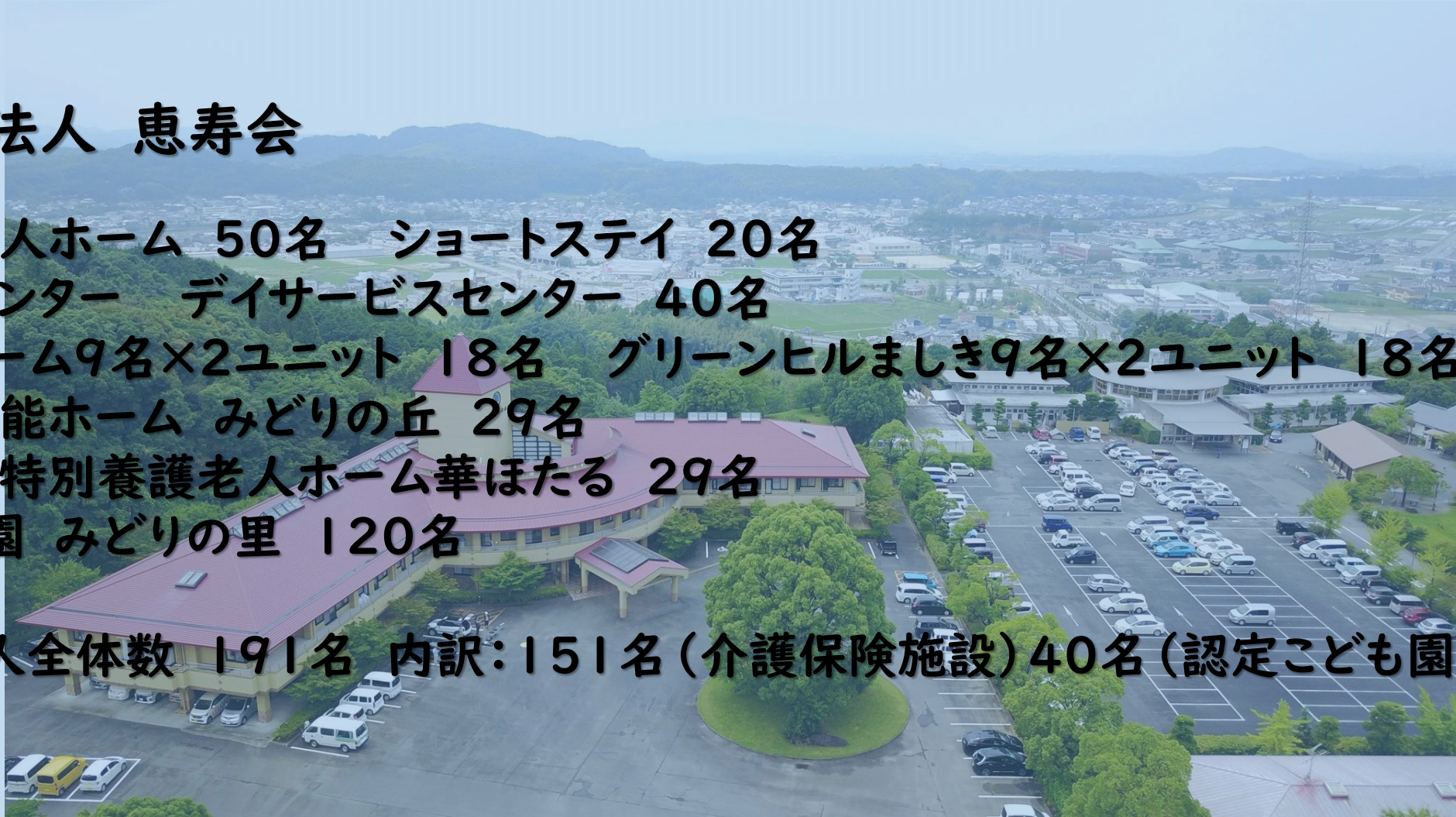
御船町の人口; 16,914人

グリーンヒルみふね

社会福祉法人 恵寿会

特別養護老人ホーム 50名 ショートステイ 20名
介護支援センター デイサービスセンター 40名
グループホーム9名×2ユニット 18名 グリーンヒルましき9名×2ユニット 18名
小規模多機能ホーム みどりの丘 29名
地域密着型特別養護老人ホーム華ほたる 29名
認定こども園 みどりの里 120名

職員数 法人全体数 191名 内訳:151名(介護保険施設)40名(認定こども園)



- ・ **BCPを策定した後の具体的運用**
- ・ **職員向けの伝達や研修・訓練の在り方**
- ・ **地域及び事業所連携の在り方**

The cover features a light yellow background with a blue header and footer. An orange triangle is on the left. Several circles with diagonal hatching in blue, orange, and green are scattered across the page.

障害福祉サービス事業所等における
自然災害発生時の

業務継続ガイドライン

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部

令和3年3月

2-2. 障害福祉サービス事業所等における業務継続計画（BCP）について

BCP とは「平常時の対応」「緊急時の対応」の検討を通して、①事業活動レベルの落ち込みを小さくし、②復旧に要する時間を短くすることを目的に作成された計画書です。

障害福祉サービス事業所等では災害が発生した場合、一般に「建物設備の損壊」「社会インフラの停止」「災害時対応業務の発生による人手不足」などにより、利用者へのサービス提供が困難になると考えられています。

一方、利用者の多くは日常生活・健康管理、さらには生命維持の大部分を障害福祉サービス事業所等の提供するサービスに依存しており、サービス提供が困難になることは利用者の生活・健康・生命の支障に直結します。

上記の理由から、他の業種よりも障害福祉サービス等はサービス提供の維持・継続の必要性が高く、BCP 作成など災害発生時の対応について準備することが求められます。

●本ガイドラインで定めるサービス

○入所・入居系サービス：施設入所支援、療養介護、共同生活援助、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設

○通所系サービス：生活介護、自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活訓練）、

就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型、就労定着支援、児童発達支援、
医療型児童発達支援、放課後等デイサービス

○訪問系サービス：居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、重度障害者等包括支援、
保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援

○相談系サービス：地域相談支援、計画相談支援、障害児相談支援

- 「短期入所」については、「通所系」の対応を基本としつつ、必要に応じて「入所・入居系」を参考とすること。
- 「自立生活援助」「相談系サービス」については、「訪問系」の対応を参考とすること。

自然災害（地震・水害等）BCPのフローチャート

1. 総論

（１）基本方針

（２）推進体制

（３）リスクの把握

- ①ハザードマップなどの確認
- ②被災想定

（４）優先業務の選定

- ①優先する事業
- ②優先する業務

（５）研修・訓練の実施 BCPの検証・見直し

- ①研修・訓練の実施
- ②BCPの検証・見直し

2. 平常時の対応

（１）建物・設備の安全対策

- ①人が常駐する場所の耐震措置
- ②設備の耐震措置
- ③水害対策

（２）電気が止まった場合の対策

- ①自家発電機が設置されていない場合
- ②自家発電機が設置されている場合

（３）ガスが止まった場合の対策

（４）水道が止まった場合の対策

- ①飲料水
- ②生活用水

（５）通信が麻痺した場合の対策

（６）システムが停止した場合の 対策

（７）衛生面（トイレ等）の対策

- ①トイレ対策
- ②汚物対策

（８）必要品の備蓄

- ①在庫量、必要量の確認

（９）資金手当て

3. 緊急時の対応

（１）BCP発動基準

（２）行動基準

（３）対応体制

（４）対応拠点

（５）安否確認

- ①利用者の安否確認
- ②職員の安否確認

（６）職員の参集基準

（７）施設内外での 避難場所・避難方法

（８）重要業務の継続

（９）職員の管理（ケア）

- ①休憩・宿泊場所
- ②勤務シフト

（１０）復旧対応

- ①破損個所の確認
- ②業者連絡先一覧の整備
- ③情報発信

【通所系・固有事項】

【訪問系・固有事項】

【相談支援事業・固有事項】

4. 他施設との連携

（１）連携体制の構築

- ①連携先との協議
- ②連携協定書の締結
- ③地域のネットワーク等の
構築・参画

（２）連携対応

- ①事前準備
- ②入所者・利用者情報の整理
- ③共同訓練

5. 地域との連携

（１）被災時の職員派遣

（２）福祉避難所の運営

- ①福祉避難所の指定
- ②福祉避難所開設の事前準備

**感染症や災害が発生した場合であっても、
必要な介護サービスが継続的に提供できる
体制を構築する観点から、
全ての介護サービス事業者を対象に**

- ・ 業務継続に向けた計画等の策定**

- ・ 研修の実施**

- ・ 訓練（シミュレーション）の実施等**

を義務づける。 + 地域との連携

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定等に関するQ & A VOL. 1

(令和6年3月29日)

【目次】

(業務継続計画未策定減算①)

問14 業務継続計画未策定減算はどのような場合に適用となるのか。

(答)

感染症若しくは災害のいずれか又は両方の業務継続計画が未策定の場合や、当該業務継続計画に従い必要な措置が講じられていない場合に減算の対象となる。

なお、令和3年度障害福祉サービス等報酬改定において、業務継続計画の策定と同様に義務付けられた、業務継続計画の周知、研修、訓練及び定期的な業務継続計画の見直しの実施の有無は、業務継続計画未策定減算の算定要件ではないが、その趣旨を鑑み、これらの業務継続計画の周知等の取組についても適切に実施していただきたい。

2-4. 障害福祉サービス事業者に求められる役割

■利用者の安全確保

障害福祉サービスの利用者の中には、相対的に体力が弱い障害者もいます。自然災害が発生した場合、深刻な人的被害が生じる危険性があるため、「利用者の安全を確保すること」が最大の役割です。そのため、「利用者の安全を守るための対策」が何よりも重要となります。

■サービスの継続

障害福祉サービス事業者は、利用者の健康・身体・生命を守るための必要不可欠な責任を担っています。したがって、入所・入居系サービスにおいては自然災害発生時にも業務を継続できるよう事前の準備を入念に進めることが必要です。入所・入居系サービスは利用者に対して「生活の場」を提供しており、たとえ地震等で施設が被災したとしても、サービスの提供を中断することはできないと考え、被災時に最低限のサービスを提供し続けられるよう、自力でサービスを提供する場合と他へ避難する場合の双方について事前の検討や準備を進めることが必要となります。

また、通所事業所や訪問事業所においても極力業務を継続できるよう努めるとともに、万一業務の縮小や事業所の閉鎖を余儀なくされる場合でも、利用者への影響を極力抑えるよう事前の検討を進めることが肝要です。

2-3. 防災計画と自然災害 BCP の違い

防災計画を作成する主な目的は、「身体・生命の安全確保」と「物的被害の軽減」ですが、その目的は、BCP の主な目的の大前提となっています。つまり、BCP では、防災計画の目的に加えて、優先的に継続・復旧すべき重要業務を継続する、または、早期復旧することを目指しており、両方の計画には共通する部分もあり密接な関係にあります。

防災計画と自然災害 BCP の違い①

計画	防災計画 災害リスクを把握し、災害時の避難等を訓練する			業務継続計画(BCP) 防災計画の避難後に 業務を継続する
	消防計画	避難確保計画	非常災害対策計画	
主な目的	・身体、生命の安全確保 ・物的被害の軽減			・身体、生命の安全確保に加え、優先的に継続、復旧すべき重要業務の継続または早期復旧
考慮すべき事象	・拠点がある地域で発生することが想定される災害			・自社の事業中断の原因となり得るあらゆる発生事象
根拠	消防法	水防法 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止 対策の推進に関する法律 津波防災地域づくりに関する法律	厚生労働省令 人員、設備及び運営に関する基準等	厚生労働省令 人員、設備及び運営に関する基準等

計画	防災計画 災害リスクを把握し、災害時の避難等を訓練する			業務継続計画(BCP) 防災計画の避難後に 業務を継続する
	消防計画	避難確保計画	非常災害対策計画	
対象 施設等	多数の者が出入し、勤務し、又は居住する防火対象物	浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波浸水想定内に所在し、市町村が作成する地域防災計画に記載のある要配慮者利用施設（社会福祉施設等）	入所・通所系事業所、小規模多機能型居宅介護、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	介護事業所等
対象の 災害	火災	風水害、土砂災害	想定される全ての災害	自然災害、感染症
義務	消防計画の作成、所轄消防長への提出。 消火、通報、避難の訓練の実施・報告	避難確保計画の作成、市町村への提出。 避難訓練の実施・報告。	非常災害対策計画の作成。 避難訓練の実施。	業務継続計画の作成。 研修・訓練(シミュレーション)の実施。研修・訓練は、入所:年2回以上、通所、訪問:年1回以上(感染症も含む)。

令和2年7月豪雨災害を踏まえた高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会の資料に加筆

つまり、従来の防災計画に、避難確保、介護事業の継続、地域貢献を加えて、総合的に考えてみるのが重要です。

自然災害（地震・水害等）BCPのフローチャート



3 - 1. BCP 作成のポイント

< 4 > 計画を実行できるよう普段からの周知・研修、訓練

- BCP は、作成するだけでは実効性があるとは言えません。危機発生時においても迅速に行動が出来るよう、関係者に周知し、平時から研修、訓練（シミュレーション）を行う必要があります。また、最新の知見等を踏まえ、定期的に見直すことも重要です。

気象庁、防災支援4ポスト新設...自治体や福祉施設・交通事業者と「顔の見える」関係に

2023/09/19 15:00



この記事をストックする



 **新たな専門職による
地域防災の支援の概要**

平時	リスクコミュニケーション推進官 インフラ事業者などの防災気象情報の活用促進	流域治水対策係長 各河川流域の特性に応じた水害対策を助言
	要配慮者対策係長 要配慮者の避難に関する計画策定の支援や啓発	気象情報基準評価係長 地域特性に応じた警報の基準値の設定や見直し

災害時

自治体に派遣。地域事情や気象情報に基づき対策を助言

説明を始める前に・・・

● 気象台の新しい専門職が外部と連携して地域防災に取り組んでいる例

名古屋	産学官連携で運営する防災シンクタンクに、新専門職が協力スタッフとして参画
岡山	河川本流の増水で支流が氾濫するバックウォーター現象について、気象庁の情報で増水前に兆候をつかめることを倉敷市に助言
沖縄	障害者団体と連携を開始。聴覚障害者団体とは、団体側が防災対策の困難さの実情を、新専門職が情報入手方法などを互いに講演
仙台管区	昨年7月の大雨で、新専門職2人を含む職員11人を、3日間にわたり宮城県や大崎市、松島町に派遣し、災害対応を支援

読売新聞（2023年9月19日配信）

あいち・なごや強靱化共創センターとの連携 →本講義の実施へ

気象台地域防災の専門職 名古屋、民間と連携へ

2023/10/06 05:00

この記事をストックする



名古屋地方気象台の新たな専門職に就任した熊田さん（中央）と光井さん（左）（名古屋市千種区で）

福祉施設へ講習会 要配慮者避難助言

名古屋地方気象台は今年度、福祉施設や民間企業などとの連携を深め、さらに災害の被害に遭いやすい高齢者らに対する避難計画の策定を支援するなどの新たな専門職を配置した。気象台が防災気象情報を提供する先は従来、主に自治体だったが、情報を広く共有することで、地域と連携し、災害への備えを強化する狙いだ。

新たな専門職は、気象庁が土砂災害や洪水被害を防ぐために発信している情報サービス「キキクル（危険度分布）」などの普及に努める「リスクコミュニケーション推進官」と、高齢者や障害者ら要配慮者の安全確保に向け、施設や自治体による避難計画策定を支援する「要配慮者対策係長」。

同推進官に熊田浩一さん（60）、同係長に光井能麻さん（45）が就任した。2人は、各方面の防災関係の会議などに顔を出して、新ポストの役割の周知を図っている。

この夏、2人の姿が、名古屋市千種区の「あいち・なごや強靱化共創センター」にあった。同センターは、産学官で防災関連の研究や教育活動、福祉施設への防災講習会などを行っている。同センター職員との打ち合わせで、熊田さんは「これまで気象台は福祉関係者とながりがなかったので、方法を探っているところ」と語った。

読売新聞（2023年10月6日配信） →

2024.1.15

要配慮者利用施設の所有者・管理者・職員等の皆様へ



参加費
無料

2023年度 要配慮者利用施設向け 「防災講習会」及び「BCP 策定講習会」のご案内

近年多発する風水害等の大規模災害に備えるためには、要配慮者利用施設※職員の皆様の「防災に対する意識の向上」や「施設のBCP(業務継続計画)作成」が極めて重要となります。

あいち・なごや強靱化共創センターでは、要配慮者利用施設向けに「防災講習会」及び「BCP 策定講習会」を以下のとおり開催します。施設の利用者の方の大切な命を守るために、是非とも御参加ください。

※要配慮者利用施設：社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設

1. 開催概要

- (1) 主催 あいち・なごや強靱化共創センター
- (2) 共催 愛知県、名古屋市、名古屋大学
- (3) 協力 特定非営利活動法人高齢者住まいる研究会、名古屋地方気象台
- (4) 日程等

No.	開催回	日 程	時 間	定員(先着順)
①	防災講習会	2024年2月21日(水)	13時00分から17時00分	会場60名 オンライン250名
②	BCP策定講習会	2024年2月22日(木)	10時00分から16時00分	会場60名 オンライン250名

3. プログラム

(1) 2月21日(水) 防災講習会

時 間	内 容	講 師 等
12:55～	オリエンテーション	
13:00 ～13:50	【講義】 『避難確保計画の作成について』 ・避難の重要性や避難確保計画の作成等について解説	○愛知県建設局河川課管理グループ 主査 頼成 潤 氏
14:00 ～15:00	【講義】 『防災気象情報の活用について』 ・避難行動に必要な防災気象情報(警戒レベル、避難情報、キキクル等)の活用方法について解説	○名古屋地方気象台 要配慮者対策係長 光井 能麻 氏
15:15 ～17:00	【グループ演習】 『線状降水帯発生！その時どうする？』 ・ハザード確認とタイムライン作成演習の実施 注)オンライン参加者は個人ワークとなります。	○特定非営利活動法人高齢者住まいる研究会 理事長 寺西 貞昭 氏 ○社会福祉法人福寿園 複合福祉施設 昭和の里 管理者 古田 拓士 氏 ○名古屋地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 熊田 浩一 氏

(2) 2月22日(木) BCP 策定講習会

時 間	内 容	講 師 等
9:55～	オリエンテーション	
10:00 ～10:50	【講義】 『6月2日大雨での経験』 ・令和5年6月2日の大雨で施設が被災した際の、当時の状況等についての報告	○社会福祉法人菜花会 理事長 鈴木 佳彦 氏
11:00 ～12:30	【講義】(対談形式) 『BCP 作成の手順と作成事例の紹介』 ・介護サービス事業者の形態に応じた BCP 作成事例の紹介と BCP 作成手順の解説	○特定非営利活動法人高齢者住まいる研究会 理事長 寺西 貞昭 氏 ○大津市障害者基幹調整センター(大津市障害者自立支援協議会事務局) 主任相談支援専門員 松岡 啓太 氏 ○可児市春里苑在宅介護支援センター(ケアネット可児) 秋松 祐哉 氏 ○社会福祉法人碧晴会 特別養護老人ホーム川口結いの家 (碧南市介護サービス機関連絡協議会) 施設長 齋藤 健 氏
13:30 ～14:15	【講義】 『美浜町における個別避難計画の取組』 ・「個別避難計画」策定に関する取組事例の報告	○美浜町 総務部防災課 防災専門官 松本 省司 氏
14:30 ～16:00	【グループ演習】 『大型台風襲来！BCP を発動せよ！』 ・施設の TO DO リストや BCP の作成演習 注) <u>オンライン参加者は個人ワークとなります。</u>	○特定非営利活動法人高齢者住まいる研究会 理事長 寺西 貞昭 氏 ○奄美医療生活協同組合 介護老人保健施設せとうち 増田 幸雄 氏

洪水キキクル (洪水警報の危険度分布)

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

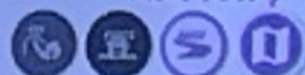
洪水浸水想定区域

洪水キキクル ↓

洪水災害の危険度
を確認！

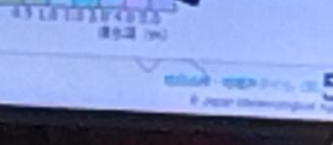
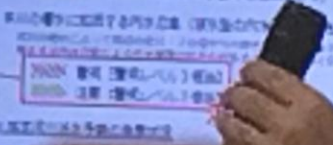
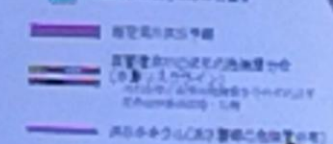
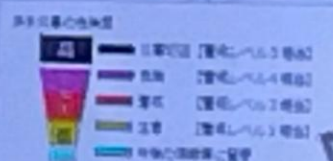
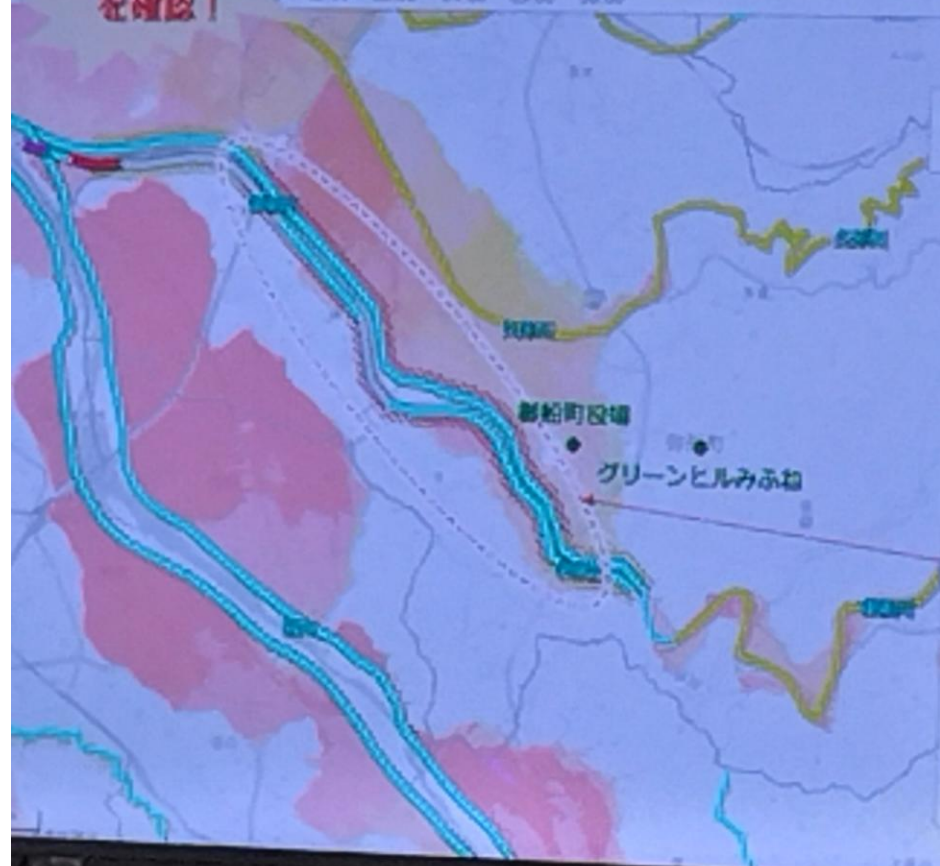
02:00 03:00 04:00 05:00 06:00

07:00



洪水キキクル 2023年7月3日07時00分の最新

川の水は上流から流れてくるので、
上流の危険度(色)にも留意！



□ /10	初動
□ /16	対応・対応と対策
□ /10	災害対策本部
□ /16	情報収集と共有
□ /10	職員の防災力向上と職員支援

状況把握（確認作業）

- ・現場の初動シート
- ・管理者の行動シート

行動を具体的に示す・更なる対策の強化

- ・対応・対応・対策シート

情報の一元化・情報のコントロール・指示出し

- ・立ち上げ備品一覧

災害対応のベース

- ・情報収集シート

現場を守る職員のレジリエンス（ライフポイントの回復）

- 研修や訓練
- ・職員支援プログラム

□ /10	ハザードマップと地域防災計画	学習項目
	福祉避難所	
	（過去の）特例措置	
	個別避難計画と避難行動要支援者	
	災害時情報共有システム	

被災想定の確認（何が起こるのか？どうなるのか？）

- ・学習、研修、教えてもらう、調べる（ハザードマップの見方・警戒レベル・地域防災計画とは）

開設の要請に対してどの様に対応するのか？

- ・開設及び運営マニュアル

事例から適切な対応策を導き出す

- ・学習、研修、教えてもらう、調べる（過去の発出事例）

制度や仕組みの理解

- ・学習、研修、教えてもらう、調べる

制度や仕組みの理解

- ・被災状況の確認や支援要請と災害時情報共有システムの連動

□ /16	外部（行政含む）との事前協議や調整
----------	-------------------

災害が起こってからでは遅い！関係者と災害時のシミュレーション

- ・学習や研修（学習項目等による連携を学ぶ）

□ /16	BCM（リスクの再評価と動作確認）
----------	-------------------

マネジメントとしての取組み

- ・学習（研修）と訓練その検証
- ・支援体制の確立（外部支援・資源の円滑な受入れ）

1. リスクの把握

- ①ハザードマップ
- ②警戒レベルと避難
- ③地域防災計画

2. シナリオを描く

- ④「過去の災害」と被災イメージ
- ⑤最悪の想定
- ⑥対応と対処・対策を導き出す

3. 初動を固める

- ⑦初動対応
- ⑧災害対策本部
- ⑨情報収集

4. 混乱期を乗り越える

- ⑩管理者機能
- ⑪外部関係者（ステークホルダー）
- ⑫職員の被災

5. 復旧を加速させる

- ⑬福祉避難所と特例措置
- ⑭個別避難計画と避難行動要支援者
- ⑮連携

6. システムとして機能させる

- ⑯災害時情報共有システム
- ⑰未来を取り入れる
- ⑰BCPをシンプルに捉える

福祉に特化した防災情報発信サイト
福祉防災ドットコム

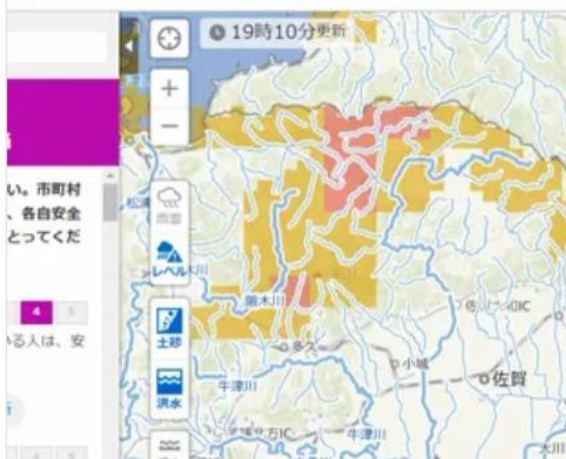
Google

サイト内検索

検索

BCP

利に新規取得
誰でもZOZOTOWNが+10%お得に



コラム



イベント・セミナー情報

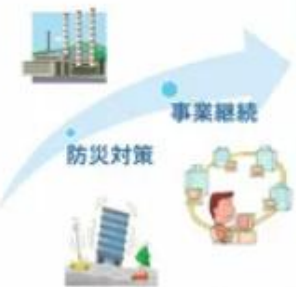


NEWS



BCP策定 策・事業継続強化に向けて

～切迫する大規模地震を乗り越えるために～



【BCP】内閣府：企業の防災対策・事業継続強化に向けて冊子

内閣府が「企業の防災対策・事業継続強化に向けて」という冊子を作成し、公開いたしました。

内閣府が「企業の防災対策・事業継続強化に向けて」という冊子を作成し、公開いたしました。福祉施...

2023.12.19

BCPトレーニング



【気象庁】e-ラーニング教材

気象に関するマイタイムラインの作成をこの動画や教材を使って実施できます。

令和6年からのBCP完全義務化の中で示されている 研修・訓練の実施において活用できる優れたツール...

2023.10.04

コラム

Business Continuity Plan

【BCP策定メソッド】②シナリオを描く

我々、NPO法人高齢者住まいる研究会では毎月第3木曜日に福祉施設学習交流会を開催してます。

BCP策定メソッド

高齢者住まいる研究会 検証



KIZUKIについて



お問い合わせ



Sadaaki Teranishi

寺西 貞昭

2-1. 業務継続計画（BCP）とは

BCP（ビー・シー・ピー）とは Business Continuity Plan の略称で、業務継続計画などと訳されます。

新型コロナウイルス等感染症や大地震などの災害が発生すると、通常通りに業務を実施することが困難になります。まず、業務を中断させないように準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方策を計画書としてまとめておくことが重要です。

BCP の特徴として、災害等が発生した後に速やかに復旧させることが重要ですが、その前に「重要な事業を中断させない」という点が挙げられます。内閣府「事業継続ガイドライン－あらゆる危機的事象を乗り越えるための戦略と対応－平成 25 年 8 月改定」では、以下のとおり定義されています。

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のことを事業継続計画（Business Continuity Plan、BCP）と呼ぶ。

BCP において重要な取組は、例えば、

- ・事業継続の方針を決めて共有すること
- ・体制を決めて、各担当者をあらかじめ決めておくこと（誰が、いつ、何をするか）
- ・連絡先をあらかじめ整理しておくこと
- ・必要な物資をあらかじめ整理、準備しておくこと
- ・上記を組織で共有すること
- ・定期的に見直し、必要に応じて研修・訓練を行うこと 等が挙げられます。

BCP（事業・業務継続計画）

明確な行動基準

人材（人財）

「防災計画」における避難行動の徹底

（固有事項にある）「基準」を決めて関係者と共有する

職員研修・訓練

3-2-2. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（通所系・固有事項）

3-2-1で記載した共通事項のほか、通所系サービス固有の事項として留意する点は、以下のとおり。

【平時からの対応】

- ・ サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握しておくことが望ましい。
- ・ 特定相談支援事業所と連携し、利用者への安否確認の方法等をあらかじめ整理しておく。
- ・ 平常時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、職能・事業所団体等）と良好な関係を作るよう工夫することも望まれる。

【災害が予想される場合の対応】

- ・ 台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておくとともに、特定相談支援事業所にも情報共有の上、利用者やその家族にも説明する。その上で、必要に応じ、サービスの前倒し等も検討する。

【災害発生時の対応】

- ・ B C Pに基づき速やかなサービスの再開に努めるが、サービス提供を長期間休止する場合は、特定相談支援事業所と連携し、必要に応じて他事業所の訪問サービス等への変更を検討する。
- ・ 利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。利用者の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。その際、送迎車の利用が困難な場合も考慮して、手段を検討する。帰宅にあたって、可能であれば利用者家族の協力も得る。関係機関とも連携しながら事業所での宿泊や近くの避難所への移送等で対応する。
- ・ 被災により一時的に事業所が使用できない場合は、利用者宅を訪問するなど代替サービスの提供を検討する。

3-2-2. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（通所系・固有事項）

【平時からの対応】

- ・ サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握しておくことが望ましい。
- ・ 特定相談支援事業所と連携し、利用者への安否確認の方法等をあらかじめ整理しておく。
- ・ 平常時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、職能・事業所団体等）と良好な関係を作るよう工夫することも望まれる。

【災害が予想される場合の対応】

- ・ 台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておくとともに、特定相談支援事業所にも情報共有の上、利用者やその家族にも説明する。
その上で、必要に応じ、サービスの前倒し等も検討する。

■ **市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で
必ず避難しましょう**
**気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に
早めの避難をしましょう**

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5 相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2 相当 氾濫注意情報	——
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当 ——	——

市区町村長は、**河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)**のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に**避難情報等(警戒レベル)**の発令判断をすることから、**警戒レベル**と**警戒レベル相当情報**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

頁)

定し、あら  
明する。

### 3-2-4. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（相談支援事業・固有事項）

#### 【災害が予想される場合の対応】

- ・ 訪問系サービスや通所系サービス、居住系サービスについて、「台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておく」とされており、利用者が利用する各事業所が定める基準について、事前に情報共有し、把握しておくこと。その上で、必要に応じ、サービスの前倒し等も検討する。
- ・ また、自サービスについても、台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、休止・縮小を余儀なくされることを想定し、その際の対応方法を定めておくとともに、他の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等、地域の関係機関に共有の上、利用者やその家族にも説明する。

## 3-2-2. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（通所系・固有事項）

### 【災害発生時の対応】

- ・ B C P に基づき速やかなサービスの再開に努めるが、サービス提供を長期間休止する場合は、特定相談支援事業所と連携し、必要に応じて他事業所の訪問サービス等への変更を検討する。
- ・ 利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。利用者の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。その際、送迎車の利用が困難な場合も考慮して、手段を検討する。帰宅にあたって、可能であれば利用者家族の協力も得る。関係機関とも連携しながら事業所での宿泊や近くの避難所への移送等で対応する。
- ・ 被災により一時的に事業所が使用できない場合は、利用者宅を訪問するなど代替サービスの提供を検討する。



### 3-2-3. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（訪問系・固有事項）

#### 【平時からの対応】

- ・ サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握しておくことが望ましい。
- ・ 特定相談支援事業所と連携し、利用者への安否確認の方法等をあらかじめ検討しておく。
- ・ 発災時に、職員は利用者宅を訪問中または移動中であることも想定し、対応中の利用者への支援手順や、移動中の場合における対応方法をあらかじめ検討しておく。
- ・ 避難先においてサービスを提供することも想定され、平常時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、職能・事業所団体等）と良好な関係を作るよう工夫することも望まれる。

### 3-2-4. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（相談支援事業・固有事項）

#### 【災害発生時の対応】

- ・ 災害発生時で、事業が継続できる場合には、可能な範囲で、個別訪問等による早期の状態把握を通じ、障害福祉サービス等の実施状況の把握を行い、被災生活により状態の悪化が懸念される利用者に対して、必要な支援が提供されるよう、障害福祉サービス事業所等、地域の関係機関との連絡調整等を行う。  
（例）通所系・訪問系サービスについて、利用者が利用している事業所が、サービス提供を長期間休止する場合は、必要に応じて他事業所の通所系サービスや、訪問系サービス等への変更を検討する。
- ・ また、避難先においてサービス提供が必要な場合も想定され、居宅サービス事業所、地域の関係機関と連携しながら、利用者の状況に応じて、必要なサービスが提供されるよう調整を行う。
- ・ 災害発生時で事業が継続できない場合には、市町村、他の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等、地域の関係機関と事前に検討・調整した対応を行う。

※ 参考資料 災害対応マニュアル【第4版】（令和元年12月1日）（（一社）日本介護支援専門員協会）

## 2-4. 障害福祉サービス事業者求められる役割

### ■職員の安全確保

自然災害発生時や復旧において業務継続を図ることは、長時間勤務や精神的打撃など職員の労働環境が過酷にあることが懸念されます。したがって、労働契約法第5条（使用者の安全配慮義務）の観点からも、職員の過重労働やメンタルヘルス対応への適切な措置を講じることが使用者の責務となります。

#### 労働契約法第5条

使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ労働することができるよう、必要な配慮をするものとする

### ■地域への貢献

障害福祉サービス業者の社会福祉施設としての公共性を鑑みると、施設が無事であることを前提に、施設がもつ機能を活かして被災時に地域へ貢献することも重要な役割となります。



# 重ねるハザードマップ ～自由にリスク情報を調べる～

🔍 大津市



## 選択中の情報

### 🔄 災害種別で選択



洪水  
・内水

(想定最大規模)



土砂災害



高潮

(想定最大規模)



津波

(想定最大規模)



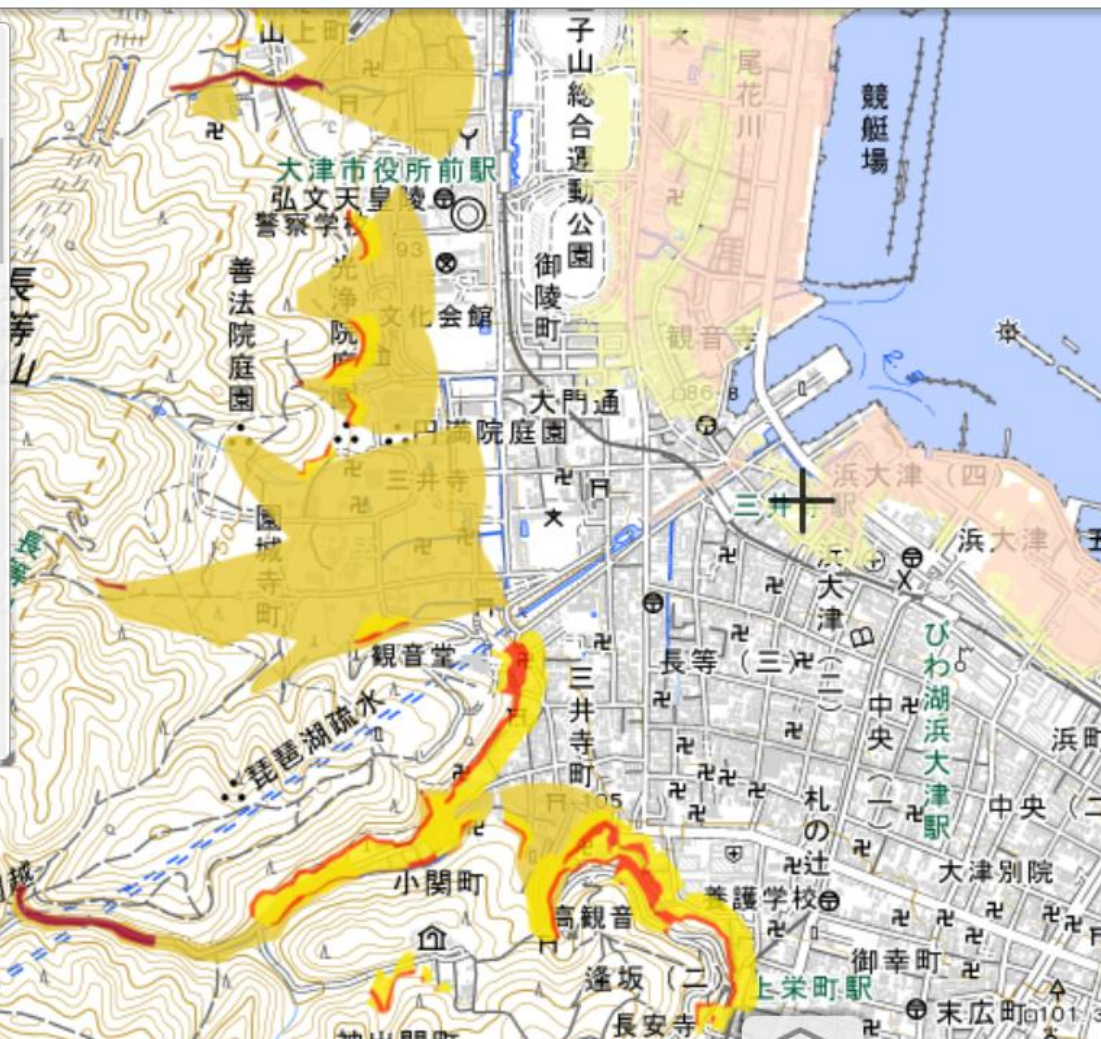
道路防災情報



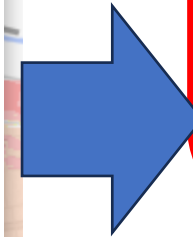
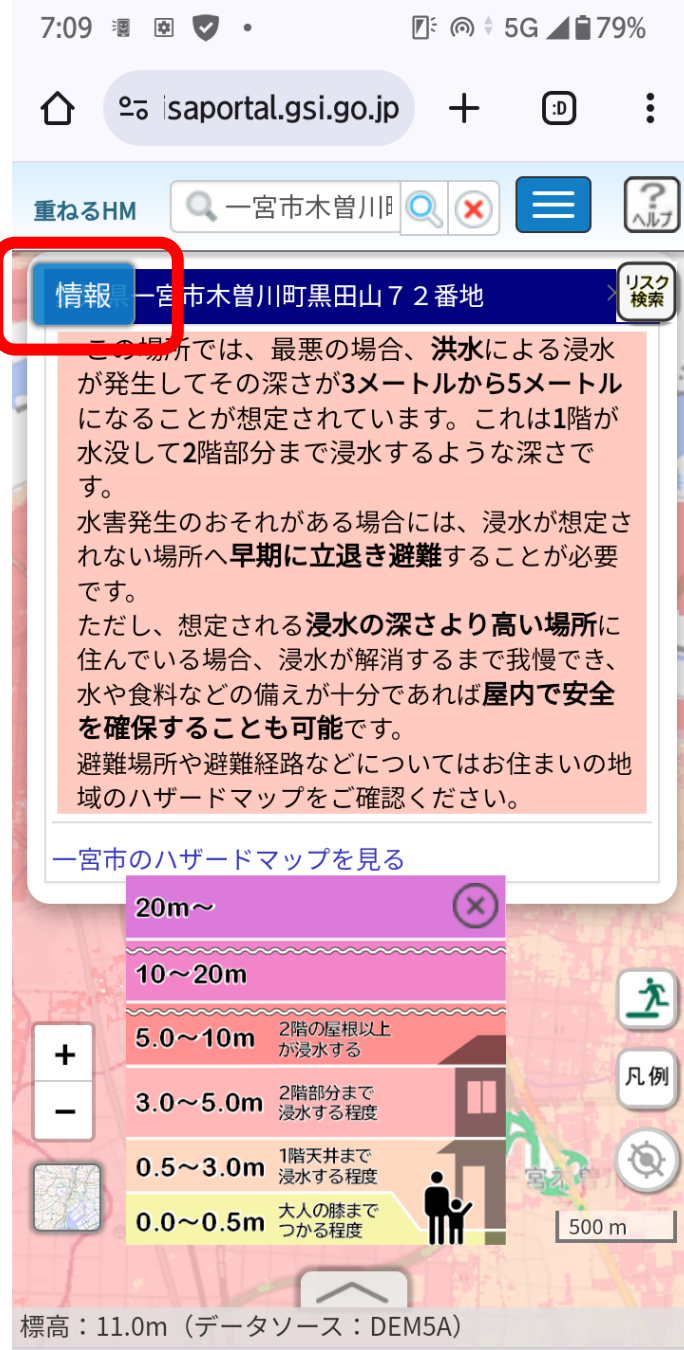
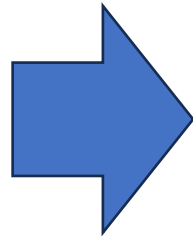
地形分類

[掲載データに関する留意事項](#)

+ すべての情報から選択







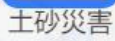


×

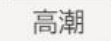


・内水

(想定最大規模)



土砂災害



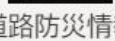
高潮

(想定最大規模)

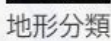


津波

(想定最大規模)



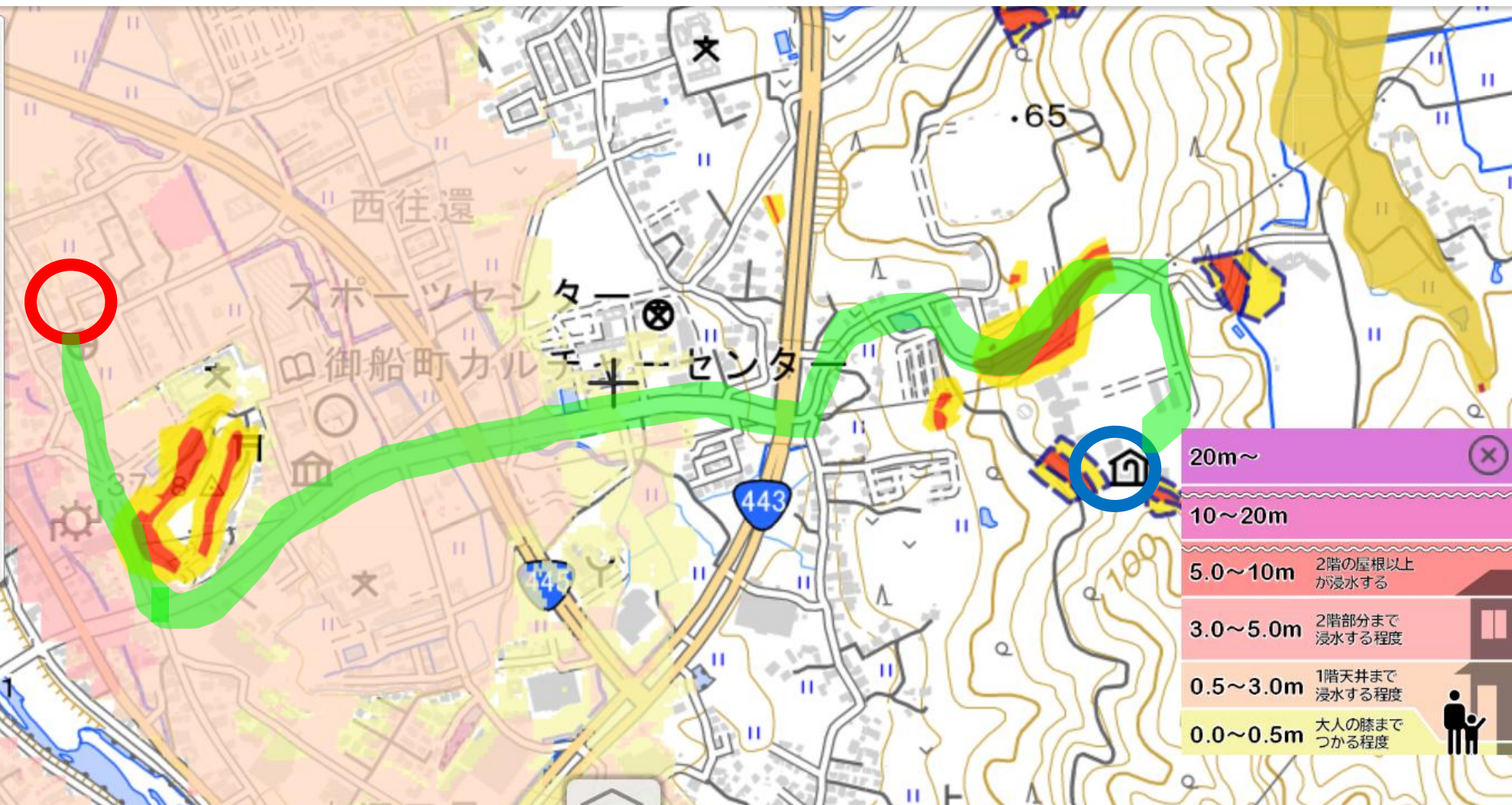
道路防災情報



## 地形分類

(想定最大規模)

## 揭重



# ハザード確認シート

確認項目	確認済	具体的なハザード	安全度※
事業所（の立地）	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
想定避難先	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
職員の自宅	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	

ご利用者の自宅	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
職員の通勤ルート	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	橋梁・液状化等	
訪問・送迎ルート	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	橋梁・液状化等	
関係介護サービス事業所	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
外部関係事業者 (委託先・調達先・供給先等)	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	



？よミトく！  
氾濫で緊急安全確保 避難のタイミングは？

## 愛知・豊橋市の状況

先週金曜日

午前

5:13 気象庁 線状降水帯 予測情報

6:40 豊橋市 レベル3 高齢者等避難

6:52 気象庁 洪水警報

7:04 気象庁 大雨警報

7:20 豊橋市 レベル4 避難指示 梅田川

午後

2:40 豊橋市 レベル4 避難指示 柳生川

3:51 気象庁 線状降水帯 発生情報

4:20 豊橋市 レベル5 緊急安全確保 梅田川 氾濫

4:30 豊橋市 レベル5 緊急安全確保 柳生川 氾濫

日本テレビ ZIPより

# 【考察】

平日（金曜日）6時40分

警戒レベル3が発令されたらどうする？

（高齢者等避難）

入所施設は？

短期入所は？

訪問は？

通所は？

相談支援は？

関係者・  
関係先

ご利用者に対して

行政に対して

職員に対して

その他に対して

地域に対して

関係事業所・団体に対して



めざせ!  
に おく  
逃げ遅れゼロ!



しがマイ・タイムライン  
オリジナルキャラクター  
ゼロットくん

問い合わせ先

滋賀県防災危機管理局

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 滋賀県危機管理センター  
TEL: 077-528-3432 FAX: 077-528-6037

しがマイ・タイムライン第1版(令和3年11月作成)

「東京マイ・タイムライン」を出典元資料として作成  
実際の災害時には、必ずしも本書子掲載のとおりになるとは限りません。

# しがマイ・ タイムライン をつくろう。

## しがマイ・タイムラインってなに?

- 一人ひとりに合った避難の準備から避難完了までの行動計画が、マイ・タイムラインです。
- 大雨や台風の発生は事前に予測できるので、あらかじめマイ・タイムラインを作っておくと、余裕を持った避難行動につながります。
- ぜひ、家族や地域の方と話し合いながら、マイ・タイムラインを作って、自分や家族の命を風水害から守りましょう。

しが けん  
滋 賀 県

### 3 避難のために必要な物を準備しよう! P6

#### 1 家族や身近な人と避難のために必要な物を準備しよう!

必ず必要な物	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 保険証・免許証 <input type="checkbox"/> 預金通帳のコピー
避難生活のために必要な物	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 食料 <input type="checkbox"/> 下着・衣類 <input type="checkbox"/> 靴 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> ティッシュ・タオル類 <input type="checkbox"/> ライター・マッチ・ロウソク
安全・安心・情報収集のために必要な物	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池の予備 <input type="checkbox"/> 手回しラジオ <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー・充電器
健康管理のために必要な物	<input type="checkbox"/> お薬 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 健康(管理)手帳
他にあなたにとって必要な物	具体例: 病気や障害についてわかるもの(医療受給者証や障害者手帳など)
あると便利な物	<input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> カイロ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ポリ袋・レジャーシート

POINT.1

- 避難時にすぐ持ち出せて、両手が使えるリュックなどの持ちやすいかばんに詰めておきましょう!
- 非常持ち出し品は、すぐに持ち出せるように寝る場所の近くや玄関先に置いておきましょう!
- 自宅で避難する場合でも、電気や水道などのライフラインが長期間使用できなくなるかもしれないから、食料や水、カセットコンロなどを備えておきましょう!

#### 2 家族や身近な人と緊急時の連絡先を確認しよう!

名前	連絡先(電話番号など)

名前

### しがマイ・タイムライン

## 災害リスク確認シート

#### 1 自宅の災害リスクを確認しよう! P3

災害リスクを調べるには、次のどちらの方法でも確認できます。

POINT.1



滋賀県  
防災情報マップを  
チェック!

POINT.2

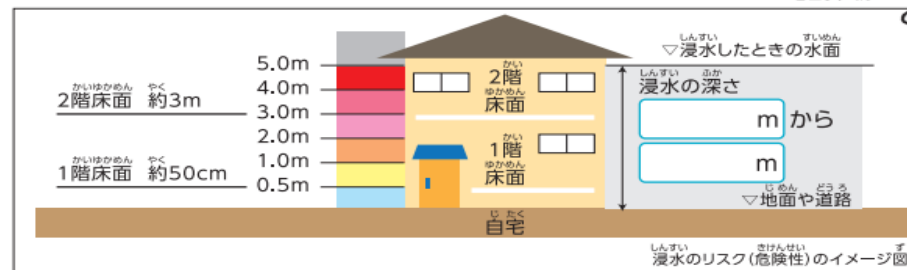
自宅がある  
市・町の  
ハザードマップ

#### 1 自宅は、大雨のときに浸水のリスクがありますか?

地図上の自宅の色 色 ☐ ある  
 浸水の深さ m から m ☐ ない

白色以外が  
塗ってあると、  
浸水のリスクが  
あるよ!

しがマイ・タイムライン  
オリジナルキャラクター  
ゼロットくん



注意 市町によって色が異なる場合があります。

#### 2 自宅は、土砂災害のリスクがありますか?

地図上の自宅の色は、  
☐ 黄色に塗ってある(土砂災害警戒区域(通称イエローゾーン))  
☐ 赤色に塗ってある(土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン))  
☐ 茶色の斜線がかかっている(土砂災害危険箇所)  
☐ 白色

土砂災害の  
リスクも確認  
しておこう!

☐ ある  
☐ ない



## 2 避難する場所とその災害リスクを確認しよう! P5

表が埋まるように、避難する場所を考えて、調べよう!

	候補1	候補2	候補3
<b>1 あなたの避難する場所はどこですか?</b>	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難場所( ) <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難場所( ) <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難場所( ) <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 <input type="checkbox"/> その他( )
<b>2 避難する場所は、浸水や土砂災害のリスクがありますか?</b>	浸水のリスク            地図上の色            浸水の深さ            mから m             <input type="checkbox"/> 黄色に塗ってある  <input type="checkbox"/> 赤色に塗ってある  <input type="checkbox"/> 茶色の斜線がかかっている            -----&gt; <input type="checkbox"/> ある  <input type="checkbox"/> 白色 -----&gt; <input type="checkbox"/> ない	浸水のリスク            地図上の色            浸水の深さ            mから m             <input type="checkbox"/> 黄色に塗ってある  <input type="checkbox"/> 赤色に塗ってある  <input type="checkbox"/> 茶色の斜線がかかっている            -----&gt; <input type="checkbox"/> ある  <input type="checkbox"/> 白色 -----&gt; <input type="checkbox"/> ない	浸水のリスク            地図上の色            浸水の深さ            mから m             <input type="checkbox"/> 黄色に塗ってある  <input type="checkbox"/> 赤色に塗ってある  <input type="checkbox"/> 茶色の斜線がかかっている            -----&gt; <input type="checkbox"/> ある  <input type="checkbox"/> 白色 -----&gt; <input type="checkbox"/> ない
<b>3 避難の方法は?</b>	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動車 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動車 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動車 <input type="checkbox"/> その他( )
<b>4 自宅から避難する場所まで何分くらいかかりますか?</b>	<input type="checkbox"/> 10分以内 <input type="checkbox"/> 10分~30分 <input type="checkbox"/> 30分以上	<input type="checkbox"/> 10分以内 <input type="checkbox"/> 10分~30分 <input type="checkbox"/> 30分以上	<input type="checkbox"/> 10分以内 <input type="checkbox"/> 10分~30分 <input type="checkbox"/> 30分以上

災害リスクがある場合、別の避難する場所を考え直そう!



## 5 自宅から避難する場所までに、浸水や土砂災害のリスクがありますか?

- ☐ ある -----> 安全な別の道を考えてみよう!
- ☐ ない

## 6 自宅から避難する場所までの地図をかこう!

実際に  
出かけて  
みよう!



## 3. 自然災害BCPの作成、運用のポイント

---

### 3-1. BCP作成のポイント

#### <1> 正確な情報集約と判断ができる体制を構築

- 災害発生時の迅速な対応には、平時と緊急時の情報収集・共有体制や、情報伝達フロー等の構築がポイントとなります。  
そのためには、全体の意思決定者を決めておくこと、各業務の担当者を決めておくこと（誰が、何をするか）、関係者の連絡先、連絡フローの整理が重要です。



7月3日(水)

自主避難所  
受付は  
能登に  
ありま  
正座(左)

緊急避難所  
本部に  
応援  
おねがひはす

ラインライン

水 → ○  
電気 → ○  
ガス → ○

Opportunity

みどり町  
デイ1名  
計10名  
避難者2名  
定期5名  
7名  
2/3泊

みどり町  
1330  
避難者  
1名に  
避難者1523

避難者  
到着  
した。  
14:40

避難者  
(職員家族)  
名簿  
ありま  
入。

名簿は  
自主避難所  
受付の机  
におく

避難者  
到着  
した。  
14:40

みどり町  
17:40  
避難者  
3名  
完

自主避難所  
(地域交流  
センター)  
準備整  
った。  
17:00

小・中学校  
引渡し

職員の帰宅

職員の出勤

基準

要配慮者

引渡し

送り届

送迎

事故

軽微

二次災害

御前町

解除

避難準備

避難勧告

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示

避難指示



7月3日(水)

8:20前まで情報収集

→いんてろ

残る業

TELのみ  
(中止)

休校にある  
基準をいふ

8:20朝刊  
8:30~送迎開始  
中止→連絡  
OK  
(業務委託ありか?)  
中央は橋をたがひ

7月10~18

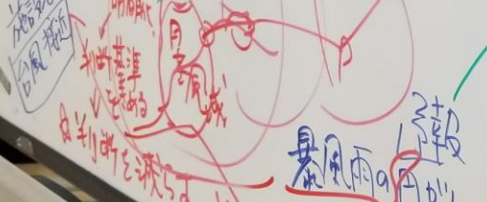
地域		行政		近隣事業所	
利用者					
9:00	30分	I. 備忘録作成	9	職員	30分
9:20	20分	II. 行先確認			
7:00	11:00	III. 非常事態発生			

1240誤差

248休校

Unit: 去

980712以下



暴風雨の

少い

中止判断

まねに  
直前

【大雨・台風の所屬長参集要件】

災害発生	5	4	3	2	1
災害発生	いんちき守る 避難の行動	避難	避難	避難	避難
所屬長以上 参集	避難	避難	避難	避難	避難
所屬長以上 参集	避難	避難	避難	避難	避難
所屬長以上 参集	避難	避難	避難	避難	避難
所屬長以上 参集	避難	避難	避難	避難	避難

入者  
開設→利用者

基準の  
ては



災害対策本部

INPUT

## 災害対策本部IN PUT (32)

12/4

お忙しい中ありがとうございました ♪

災害対策本部

OUTPUT

## 災害対策本部OUT PUT (31)

11/20

【訓練です】 皆さん大変お疲れ様でした。 13:00をもちまして、停電想…



# 入所の初動（風水害）

	項目	完了	
		異常なし	あり
1	避難支援者の確保		
2	災害情報（降雨状況・河川水位・警戒レベル・警報等）の収集		
3	避難行動をとる 安全な場所への移動（建物内）（建物外）		
4	建物の安全点検・対策を行う（危険箇所を見つけて事前補強）		
5	非番職員及びそのご家族の避難状況の把握		
6	（停電や断水対策） 使用できる水の確保（浴槽等に水を溜める）		
7	停電対策（自家発電装置・ランタン・懐中電灯		
8	法人内災害対策本部立ち上げ（支援）		
9	入所者の安全確保や環境整備・見守り・トイレ誘導・水分補給等		
10	必要備品（防災用品や水・食料・ポリタンク等）の準備を行う		

# 自然災害（地震・水害等）BCPのフローチャート

## 1. 総論

### （１）基本方針

### （２）推進体制

### （３）リスクの把握

- ①ハザードマップなどの確認
- ②被災想定

### （４）優先業務の選定

- ①優先する事業
- ②優先する業務

### （５）研修・訓練の実施 BCPの検証・見直し

- ①研修・訓練の実施
- ②BCPの検証・見直し

## 2. 平常時の対応

### （１）建物・設備の安全対策

- ①人が常駐する場所の耐震措置
- ②設備の耐震措置
- ③水害対策

### （２）電気が止まった場合の対策

- ①自家発電機が設置されていない場合
- ②自家発電機が設置されている場合

### （３）ガスが止まった場合の対策

### （４）水道が止まった場合の対策

- ①飲料水
- ②生活用水

### （５）通信が麻痺した場合の対策

### （６）システムが停止した場合の 対策

### （７）衛生面（トイレ等）の対策

- ①トイレ対策
- ②汚物対策

### （８）必要品の備蓄

- ①在庫量、必要量の確認

### （９）資金手当て

## 3. 緊急時の対応

### （１）BCP発動基準

### （２）行動基準

### （３）対応体制

### （４）対応拠点

### （５）安否確認

- ①利用者の安否確認
- ②職員の安否確認

### （６）職員の参集基準

### （７）施設内外での 避難場所・避難方法

### （８）重要業務の継続

### （９）職員の管理（ケア）

- ①休憩・宿泊場所
- ②勤務シフト

### （１０）復旧対応

- ①破損個所の確認
- ②業者連絡先一覧の整備
- ③情報発信

### 【通所系・固有事項】

### 【訪問系・固有事項】

### 【相談支援事業・固有事項】

## 4. 他施設との連携

### （１）連携体制の構築

- ①連携先との協議
- ②連携協定書の締結
- ③地域のネットワーク等の  
構築・参画

### （２）連携対応

- ①事前準備
- ②入所者・利用者情報の整理
- ③共同訓練

## 5. 地域との連携

### （１）被災時の職員派遣

### （２）福祉避難所の運営

- ①福祉避難所の指定
- ②福祉避難所開設の事前準備

部署		どうなる？（使えなくなる器具等）	その結果	何を使って何をする？（対策）	備考欄（具体的な行動や目安のなる数量）	具体的な行動イメージ
みどりの丘（停電）	1	ご飯が炊けなくなる	炊飯器が使えない	ガス炊飯器を使う	ラップ、塩等簡単にできるものを提供（おにぎり等）	ガス炊飯器が誰でも使えるようにしておく。 平時から時々使うなど
	2	何も見えなくなる	足元が不安になり。転倒のリスクが高まる	ランタンや懐中電灯を使う	ランタン用の電池やその他使用期限等も把握しておく必要がある。きちんと点灯するかどうか？の定期点検も怠らない	
	3	電話が使えなくなる	連絡が取れない	スマホで代用する	実際に大災害の時には携帯端末は混線した経緯を踏まえ、どう対策を講じるか？	
	4	洗濯ものが洗えない	大物の衣類が洗えない	小物は手洗いするが、大物は時間をかけて浴槽で洗う	大物、小物の分類を視覚化しておく。人によってはイメージは異なる。判断する基準を明確化しておく	と非常時に役立つ
	5	お茶がわかせない	水分補給ができない	カセットコンロを使い、お湯を沸かす	カセットコンロ、ガスボンベを準備	カセットコンロ数、ボンベ数の把握。ボンベ一本当たりどのくらい持つのか？強火〇時間など・・・
	6	暗闇で何も見えない	トイレの際、感染症があるとき、洗浄が大変	夜中はランタンを使う。昼間は外の明かりを使う（カーテンを開けるなど）	トイレ誘導時間を調整する	2に同じ
	7	エアコンが使えない	暑くて熱中症になる	団扇を使ったり、タオルに水をつけて冷やす		寒いときにはどうするか？ 春夏秋冬で対策を講じる



# 災害想定ゲーム 「KIZUKI」 演習



災害想定ゲーム **KIZUKI**

介護現場で生まれた

地震直撃をリアルに再現した福祉施設のバーチャル・シミュレーションゲーム

**KIZUKI**

回収場

リーダーシップを発揮するのは誰？

**瞬時の判断**

次々に起こるトラブルにあなたは対応できるか？

火災 (Fire)

避難者 (Evacuee)

ケガ人 (Injured)

巨大地震 (Great Earthquake)

集中豪雨 (Heavy Rain)

感染症 (Infection)

今、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されています。私たち、NPO 法人 高齢者住まいる研究会は、福祉施設等の BCP (事業継続計画) の策定支援を目的に、災害を具体的にイメージできる学習ツールを開発しました。地震発生直後の様々なトラブルに対して、限られた人員・時間と備品の中で、優先順位を意識して、その対応をチーム (3名) で考える、対戦型のシミュレーションゲームです。施設における新しい形の防災訓練での活用におすすめです。

開発者：寺西貞昭

お問い合わせ：NPO 法人 高齢者住まいる研究会 理事長 寺西 貞昭 090-1418-2652  
〒493-0501 愛知県一宮市木曽川町黒田字山72番地

「災害想定ゲーム KIZUKI」(たづね)は商標登録済みです。

# 情報収集をする

必要なアイテム

ラジオ

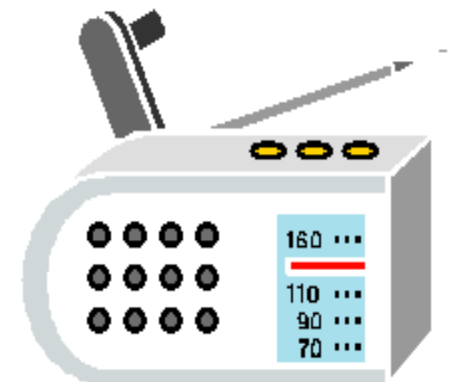
対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



# 建物の安全確認をする

必要なアイテム

—

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500





行動	具体的な項目	確認済
ご利用者（入所者）の確認	点呼	<input type="checkbox"/>
	ケガ人の有無	<input type="checkbox"/>
職員の確認	勤務者の点呼	<input type="checkbox"/>
	ケガ人の有無	<input type="checkbox"/>
	全職員の安否確認	<input type="checkbox"/>
	全職員家族の安否確認と被災状況	<input type="checkbox"/>
建物の確認	壁面	<input type="checkbox"/>
	天井	<input type="checkbox"/>
	ガラス	<input type="checkbox"/>
	床・扉の開閉等	<input type="checkbox"/>
ライフラインの確認	電気	<input type="checkbox"/>
	ガス	<input type="checkbox"/>
	水道	<input type="checkbox"/>
	電話・通信	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

# DSの初動 (地震)

	項目	完了	
		異常なし	あり
1	ご利用者の安否（ケガ等）		
2	職員安否		
3	災害情報（震源地・震度・地震規模等）の収集		
4	ケガ人・体調不良者の手当や搬送		
5	出勤職員及びそのご家族の安否と被害状況の把握		
6	利用者の安全確保・見守り・トイレ誘導・水分補給等		
7	火の元確認		
8	職員の安全確保（ヘルメットをかぶる）		
9	ガス確認		
10	避難行動をとる 安全な場所への移動（建物内）（建物外）		

11	建物の安全確認を行う		
12	送迎車含む設備や備品の被害状況を確認を行う		
13	使用できる水の確保（貯水槽のバルブを閉める）		
14	電話/FAXの使用可否の確認		
15	インターネットの通信状況確認		
16	（停電時）ブレーカーを一旦落とす		
17	余震に対する備え（窓から離れる・カーテンを閉じる・シーツや毛布をかぶる）		
18	道路状況の確認		
19	近隣の火災確認		
20	必要備品（防災用品や水・食料・ポリタンク等）の準備を行う		



人的被害の状況		選択式	(01) 人的被害なし	必須入力	
			(02) 人的被害あり		
		入力式	(02-1) 負傷者 ●●人	任意入力	
			(02-1-2) 重傷者(医療機関への搬送又は受診が必要) ●●人 (02-3) 軽傷者(医療機関への搬送又は受診が不要) ●●人		
			(02-2) 死亡者 ●●人		
			(02-3) 行方不明者 ●●人		
建物被害の状況	被害の規模	選択式	(01) 被害なし	必須入力	
			(02) 軽微な被害あり(推定被害80万円未満)		
			(03) 重大な被害あり(推定被害80万円以上)		
	被害の内容	選択式	(01) 建物損壊 (01-1) 全壊 (01-2) 大規模半壊 (01-3) 半壊 (01-4) 一部損壊 (01-5) 未定	任意入力	
			(02) 浸水被害 (02-1) 床上浸水 (02-2) 床下浸水		
			(03) 雨漏り被害		
避難・開所の状況	入所施設	選択式	(04) その他 ※複数選択可	任意入力	
			※建物被害の内容・建物被害があった場所等の詳細		
		記述式	※建物被害の内容・建物被害があった場所等の詳細	任意入力	
			※建物被害の内容・建物被害があった場所等の詳細		
		記述式	※建物被害の内容・建物被害があった場所等の詳細	任意入力	
			※建物被害の内容・建物被害があった場所等の詳細		
	入所施設以外	選択式	(01) 避難の必要性なし	必須入力	
			(02) 避難の必要性あり		
			(02-1) 避難先の確保が困難	任意入力	
			(02-2) 避難先を調整中		
			(02-3) 避難中		
			(02-3-1) 避難先施設の所在市町村 ※プルダウン選択式 (●●県 ●●市)	任意入力	
			(02-3-2) 避難先施設種別 (01) 他施設 (02) 避難所 (03) 病院 (04) その他	任意入力	
	入所施設以外	記述式	(02-3-3) 避難先施設の名称	任意入力	
			(03) 避難の状況の詳細	任意入力	
		選択式	(01) 支障なし(開所)	必須入力※	
			(02) 支障あり(開所中)		
			(02-1) 代替受入先なし・代替受入先調整中	任意入力	
			(02-2) 代替受入先あり		
			(02-2-1) 代替受入先施設の所在市町村 ※プルダウン選択式 (●●県 ●●市)	任意入力	
		記述式	(02-2-2) 代替受入先施設の名称	任意入力	
		記述式	(03) 開所の状況の詳細	任意入力	
必要な人的支援の状況		選択式	(01) 介護職員 (02) その他の職種(※看護師等) (03) ボランティア ※複数選択可	任意入力	
		記述式	※必要な人数・状況等の詳細	任意入力	

## 災害時情報共有システム 被災状況報告項目②

ライフライン等の状況 及び必要な支援の状況	電気の状況	選択式	(01) 停電なし	必須入力	
			(02) 停電あり		
			(02-1) 非常用自家発電なし	任意入力	
			(02-2) 非常用自家発電あり		
			(02-2-1) 燃料が十分ある、もしくは定期的に補充可能		
			(02-2-2) 燃料が2～3日分しかなく、その後については燃料確保の見通しなし	任意入力	
			(02-2-3) 今日の確保にも支障がある		
	電源車の支援	選択式	(01) 支援を要請（高圧）（02）支援を要請（低圧）（03）支援を要請（電圧不明）（04）支援不要	任意入力	
			(01-1) 支援到着（01-2）支援未到着	任意入力	
			(02-1) 支援到着（02-2）支援未到着	任意入力	
	水道の状況	選択式	(01) 断水なし	必須入力	
			(02) 断水あり		
			(02-1) 応急給水可能な受水槽・井戸設備なし	任意入力	
			(02-2) 応急給水可能な受水槽・井戸設備あり		
		飲料水の状況	選択式	(01) 十分ある、もしくは定期的に補充可能	任意入力
				(02) 2～3日分しかなく、その後については確保の見通しなし	
				(03) 本日分の確保にも支障がある	
		生活用水の状況	選択式	(01) 十分ある、もしくは定期的に補充可能	任意入力
				(02) 2～3日分しかなく、その後については確保の見通しなし	
				(03) 本日分の確保にも支障がある	
トイレの状況		選択式	(01) 使用可能	任意入力	
			(02) 使用不可		
			(02-1) 応急対応可能な代替設備なし	任意入力	
			(02-2) 応急対応可能な代替設備あり		
給水車の支援	選択式	(01) 支援を要請（02）支援不要	任意入力		
		(01-1) 支援到着（01-2）支援未到着	任意入力		
ガスの状況	選択式	(01) 供給あり	必須入力		
		(02) 供給なし			
		(02-1) 応急可能な代替設備なし	任意入力		
		(02-2) 応急可能な代替設備あり			
冷暖房の状況	選択式	(01) 使用可能	必須入力		
		(02) 使用不可			

# 災害情報システム改修 被災施設支援へ活用促す（厚労省）

11/20(水) 10:02 配信



福祉新聞  
THE FUKUSHI SHIMBUN



水、食料、感染症対策、物資の備蓄、非常用自家発電設備の設置状況などについて、平時から定期的に報告できるようにする

厚生労働省は災害発生時に介護施設などに被災状況を入力して知らせてもらう「災害時情報共有システム」を改修する。被災施設の水、食料、感染症対策、物資の備蓄、非常用自家発電設備の設置状況などについて、平時から定期的に報告できるようにする。これまで被災施設の入力が低調だったため、平時から報告できるようにすることでシステムの活用を促す。

同システムは「介護サービス情報公表システム」内にあり、2021年9月に運用を開始した。被災した特別養護老人



# 火災発生！

必要なアイテム  
対応する人

消火器  
介護士2名

未対応

ダメージ 1500

※消火器 カード1枚返却



どちらを優先する？

## 利用者が家具の下敷きになっている！

必要なアイテム  
対応する人

—  
介護士2名

未対応

ダメージ 1500



大地震発生直後の

優先業務を決めるシミュレーション訓練

# 厨房からガス漏れ！

必要なアイテム

対応する人

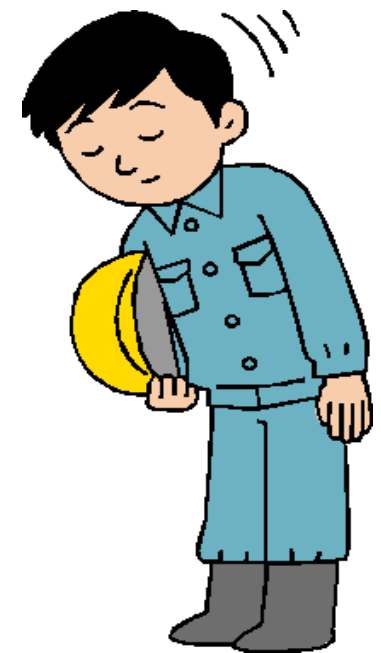
工具セット

支援員1名

未対応

ダメージ

500



# 利用者がトイレに閉じこめられた

必要なアイテム

対応する人

工具セット

支援員2名

未対応

ダメージ

1000





来訪者！「避難指示」を聞いたから  
避難させてほしい

必要なアイテム

—

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



来訪者！救助活動に協力して欲しい  
(日頃、お世話になっている町内会長より)

必要なアイテム

—

対応する人

支援員2名

未対応

ダメージ

1000



来訪者！避難所への誘導を手伝って欲しい  
(民生委員さんより)

必要なアイテム

—

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500





来訪者！水を分けて欲しい  
(日頃、お世話になっている町内会長より)

必要なアイテム

水×2

対応する人

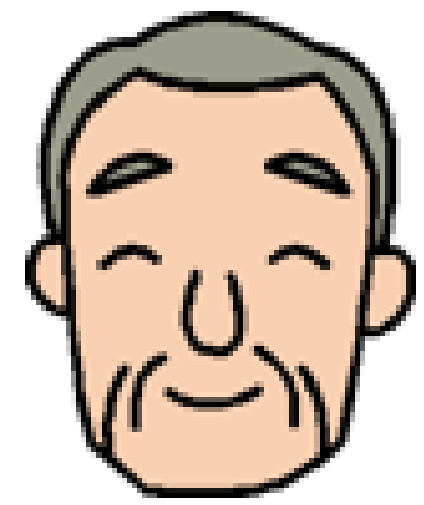
—



ダメージ

1000

※水 カード2枚返却



## 【御船町】 自然災害警報発令時の保育施設の休園基準について

警報等発令時の保育として、下表のとおり対応しますのでご理解とご協力をお願いいたします。

- ▶ 地域の道路等の状況や気象の状況で登園が危険な場合は、登園を見合わせてください。
- ▶ お迎えについても、周囲の状況に注意しながら早めの対応をお願いいたします。

警報等の種類	警報等の発令・解除	保育園開園の対応等
避難指示 【警戒レベル4以上】	開園前に発令中	原則として休園します。 ただし、状況に応じて開園することもあります。
	開園中に発令	原則として休園します。 速やかにお迎えをお願いします。 避難準備をしつつ、保護者へ連絡します。
大雨警報 洪水警報	開園前に発令中	原則として保育を行います。 ただし、施設長が危険と判断した場合は、「臨時休園」または「登園自粛※」とします。※家庭保育が可能な場合は登園自粛をお願いします。

支援員1名

「子どもを迎えに行かなければならない」と訴え出る  
必要なアイテム

対象者

支援員1名

未対応

ダメージ

0



※職員を返す場合、支援員コマ1個返却

## 2-4. 障害福祉サービス事業者求められる役割

### ■職員の安全確保

自然災害発生時や復旧において業務継続を図ることは、長時間勤務や精神的打撃など職員の労働環境が過酷にあることが懸念されます。したがって、労働契約法第5条（使用者の安全配慮義務）の観点からも、職員の過重労働やメンタルヘルス対応への適切な措置を講じることが使用者の責務となります。

#### 労働契約法第5条

使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ労働することができるよう、必要な配慮をするものとする

### ■地域への貢献

障害福祉サービス業者の社会福祉施設としての公共性を鑑みると、施設が無事であることを前提に、施設がもつ機能を活かして被災時に地域へ貢献することも重要な役割となります。



9:30

1 地上D 011

HD  
G

熊本で線状降水帯が発生  
土砂災害など嚴重警戒

熊本 益城町 木山川

午前7時半ごろ

スcoopBOX

撮影 視聴者

氾濫発生

木山川 熊本 益城町 新川橋付近

NHK  
NEWS



9:02

1 地上D 011

NHK  
G

熊本で線状降水帯が発生  
土砂災害など嚴重警戒

熊本 中央区

午前8時前

「顕著な大雨」情報 線状降水帯が発生

熊本県

土砂災害・洪水の危険度 急激に高まる

NHK  
NEWS

# 他事業所の受け入れ開始



一般の避難者を受け入れつつ、  
他事業者より連絡がある。  
条件付き（避難されてくる方の  
状態がわかる方を一緒にお願い  
したい・・・）受け入れを決断

地域交流センターへ泊まって頂く  
ことに・・・。  
他事業所との共同生活の開始



## <K I Z U K I バリエーション>

様々な状況を想定し、用意しています。

また、委託作成も承っております。

通所（デイサービス）Ver. 動画 <https://youtu.be/OTzjiSnvgWk>

【ゲーム体験の感想】

入所Ver.

障害者施設Ver. 動画 <https://youtu.be/QNA0FEAtvBA>

保育施設Ver. 動画 <https://youtu.be/KMBcOQohXuA>

夜勤Ver. **NEW**令和6年11月より頒布開始いたしました

本部運営Ver. 動画 <https://www.youtube.com/watch?v=j0K9-ShYeps>

【ゲーム体験の感想】



BCP



## 【動画】熊本地震で被災した福祉施設のリアル

「被災地からのメッセージ」グリーンヒルみふね 後編

<https://youtu.be/5tTP0nG6mh4>

2023.06.28

BCP



## 【動画】熊本地震で被災した福祉施設のリアル

「被災地からのメッセージ」グリーンヒルみふね 前編

<https://youtu.be/65FXPBTgl3Q>

2023.06.28